

(上)

夜を走る

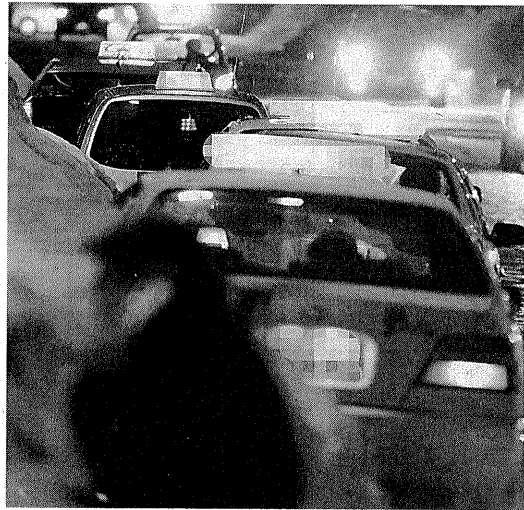
十勝の運転代行業

自宅まで送る。業者の車が客の車に随伴し、送り届けると次の客のもとへ。往復にタクシーを使うより安い。郊外に農業者が多く、周辺町村に大きな歓楽街がない十勝では運転代行の需要が高い。

◆業者は道内最多

運転代行業への法規制が始まったのは2002年。帯広署によると、同署管内で認定さ

週末の帯広市繁華街は、運転代行業の車がズラリと並ぶ。過当競争がさまざまな問題を引き起こしている(写真は一部加工しています)



激戦地

過当競争、命の危険も

忘年会の酔客でにぎわう、昨年末の帯広市の繁華街。2次会を終えた隣の十勝管内音更町内の公務員(42)は帰宅するため、なじみの自動車運転代行業者に連絡して驚いた。「1時間半待ち。仕方ない、3次会で時間をつぶそうか」

運転代行業は2人1組。飲酒した客の車を代わって運転し、客とともに繁華街などから

れている代行業者は31社で、車両台数は130台(いずれも昨年12月末現在)。警察署別にみた業者数は道内最多だ。

とはいえ、年の瀬の800円に下げた。勤務時間は午後7時から午前3時まで。本来な

さが過当競争を生み、ささまざまな問題が起き始めている。帯広市で営業を始めて27年目の社長(65)は2年前、従業員

ら午後10時以降は深夜労働の割増賃金(基本賃金の25%)を払う必要があるが、「払ったことはない」。

社長は「車1台に月給を9000円から1万円はかかる代行保険や燃料など維持費だ

故は次の客を迎えに行きた場合、賠償をめぐる途中に起きた。車はり裁判になるケースも

日未明、帯広市の市道。補償対象は、客の車が交差点で、市内の代行業者の随伴車が中央分離帯の街灯に衝突、1人が死亡し、もう1人が軽傷を負った。

い。このため、未加入

発信

2013



自動車運転代行業 公的な「律」が施行され、認定制度が開始。た

交通機関が発達していない地だ、代行業はタクシーのような運送業に広がった。事故に備えた保険契約のない。警察庁交通局交通企画課による義務付けや、暴力団関係者の営業の排除など、代行業者の数は、認定制度が始まった2002年、「自動車」8社から8778社に倍増した。

かす。業者の大半が深夜時速100キロ以上で走っている。現状を踏まえ、全国夜割り増しを払えない。ある業者は「毎日が運転代行協会(東京)の理事の一人は言う。客取り合戦。少しでも回転率を上げるため、」

◆公共性が高いが

業者同士の激しい競争は、従業員や客の生命を脅かすこともあ。また、随伴車にけ。2011年6月9日、交通機関として認められるよう、業界自体が取り組まなくては便利で、飲酒運転の防止に役立つ運転代行業者がひしめく十勝では、業界の抱える課題も浮かび上がる。(帯広報道部の佐々木馨斗が担当します)

十勝の運転代行業

新規業者の社長(47)は「1回のもうけは少ないが、その分リピーターが増えれば最終的に利益に結びつく。そもそも、競争で値段が下がれば、喜ぶのはお客さんじゃありませんか」と話し、近く「3キまで800円にした」と息巻く。

昨年11月、運転代行業で道内屈指の激戦地十勝の業界に、衝撃が走った。破格の初乗り料金を出す業者が新規参入したからだ。

「初乗り」を超える500円ごとに1きるからだ。客の車に

新規参入した運送代行業者（左）と、老舗の業者の料金表。「3.1～3.5⁺」で比べると、新規業者は「1100円」、老舗は「2200円」と大きな差がある

価格破壊共倒れ懸念

随伴する業者の車には料金メーターすらない。ある代行業者は「酔客相手にいちいち、料金表を出して説明する

業者は少ない。お客だ
って平気で値切ってく
る人もいます」と打ち
明ける。

こうした点は、代行

業に利用者が「不透明さ」を感じることにつながっている。警察庁などが昨年3月、一般市民を対象に行った連

・3%が、上位2位
占めた表参照。

下限定を急ぐ

帯広で長く代行業

税が10%に上がったらもう、廃業です」

十勝地方運輸代行連合会の初代会長で、幅広く代行業を営む樋渡

発信
2013

義章社長(60)は「このままでは、十勝の業者は共倒れです」と、焦りを隠さない。樋渡社長が理事を務める全国運転代行協会(東京)は、十勝など全国各地の状況を踏まえ「地域別の下限料金」設定を目指すことを決め、利潤を含め、事業運営に最低限必要なコストの算定を急いでいる。

同協会の幹部は「ある程度の利潤を保証しないと、保険加入を渋ったり、従業員の待遇低下などにつながり、消耗戦が続けば、最後は客の安全が置き去りにされてしまう」と話す。

改善に向けて動きだした業界。公共交通機関のような市民権を得る日は来るだろうか。

夜を走る

十勝の運転代行業

（下）

行業者がひしめく全国有数の「代行王国」。以前は、業者同士が縄張り争いし、つけ込んだ暴力団が「みかじめ料」を巻き上げるなど、問題が絶えなかった。

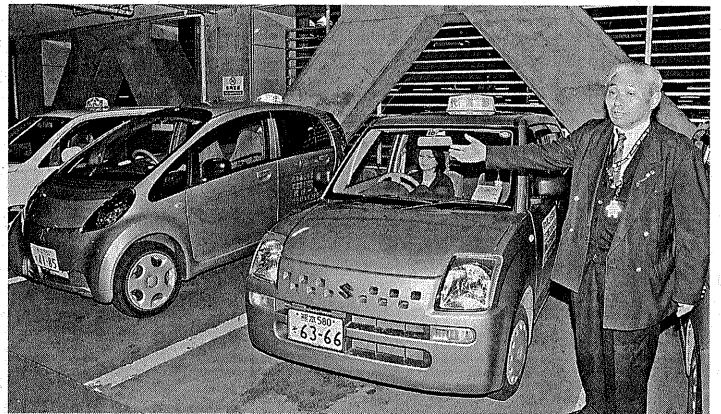
消えた違法駐車

熊本北署が本格的に対策に乗り出したのは、2011年3月。

熊本市の熊本城下に広がる西日本最大の「下通アーケード」は、東西に12本の小路が交差し、飲食店や商業ビルが立ち並び、歓楽街をつくる。

「2年前までタクシィや運転代行の車でぎっしり埋まり、先が見通せないほどだったのですよ」。今月15日の深夜、熊本北署交通第一課の中田正弘係長（54）は、違法駐車が一

台もない小路をながめて教えてくれた。人口73万人の同市は、130もの運転代



地元アパートの立体駐車場に設けた専用の待機場で、活用法などを話す運転代行協会の小森田政憲会長＝15日、熊本市の鶴屋パーキング

市民権

官民連携が獲得の鍵

の相乗効果で、違法駐車を減らしたと、20社近くは、みかめる客層が増えまじない」と言う。熊本方

た。その一つが「繁華も厳格にした。暴力団」の関わりを絶ち、客田係長は「警察がつそれに比べ、帯広市一部を夜間だけでも使

熊本市内を巡回する代行協会の青パト隊。違法駐車を記録するため、ドライブレコーダーも付いている



なさい」と説得した。行業者による客待ちの官民の信頼関係が築ける。違法駐車が横行している。市内のある社長は

「自社の待機場所は中心街から遠く、経営効

率を考えると、繁華街

意識改革を図る業界

と、サポートする官。運

転代行業が市民権を得るには、双方の連携が

力ギを握る。十勝も、その流れに置いていかれるわけにはいかない。

発信
2013

と、導入を望んでいる。「安心」の証明を

業界の「自助努力」

は熊本にとどまらず、全国レベルでも進みそう。業界の2大全国組織である全国運転代行協会（東京）と運転代行振興機構（同）は今春、「優良事業者評価制度」の創設を目指す。①過去3年以内に重大事故がない②随伴車の任意保険加入③関係法令の順守などをクリアした業者に、認定ステッカーを交付する。客がひと目で安心な業者を選べる仕組みだ。

意識改革を図る業界

と、サポートする官。運

転代行業が市民権を得るには、双方の連携が

力ギを握る。十勝も、その流れに置いていかれるわけにはいかない。